

# 平成30年度当初予算の概要



三木市 Miki City

# はじめに

平成30年度当初予算は、私が市長として初めて編成する通年予算であり、「誇りを持って暮らせるまち三木」の創造に向けた本格的なスタートの年と位置づけ、「三木創生への5つの基本方針」に基づき、このまちの確かな未来をつくるため、市民目線に立ち予算を編成しました。

さらに、今まで先送りされてきた施設や設備の改修に、順次、取り掛かります。特に、災害時の避難所であり市民にとって身近な施設である公民館などは、最優先に取り組むとともに、財源については、国からの交付税措置のある有利な市債を活用し、市の負担軽減も図っていきます。

本市の財政は、平成17年度の吉川町との合併以降10年間にわたり、国からの地方交付税の加算や合併特例債の発行など収入面で優遇されていたことなどにより、基金の取崩しを最小限に抑えながらの黒字決算となっていました。しかし、本来ならばこの間に進められるべき施設の統廃合など、合併効果を活かした三木市全体のスリム化が図られませんでした。

さらに、平成28年度以降、これらの特例措置の縮小により収入が減少する一方、支出面では、子育て支援に要する費用のほか、医療費や介護サービス費などの社会保障に要する費用が増加しています。

この結果、平成29年度最終予算での基金取崩額は約12億円となるとともに、平成30年度当初予算においても同程度の基金を取り崩すことで、収支の均衡を図っているところです。

この多額の収支不足を解消するため、平成30年度中に市役所自身も身を切る覚悟を持って既存事業の徹底的な見直しによる経費の抑制や、公共施設の使用料の改定による収入の確保など、中長期的視点に立ち、今後の財政運営の方針を検討します。そして、まちが活力を保ち続けるため、健全で持続可能な財政基盤を確立し、三木の明るい未来を築いてまいります。

平成30年2月19日

三木市長 仲田一彦

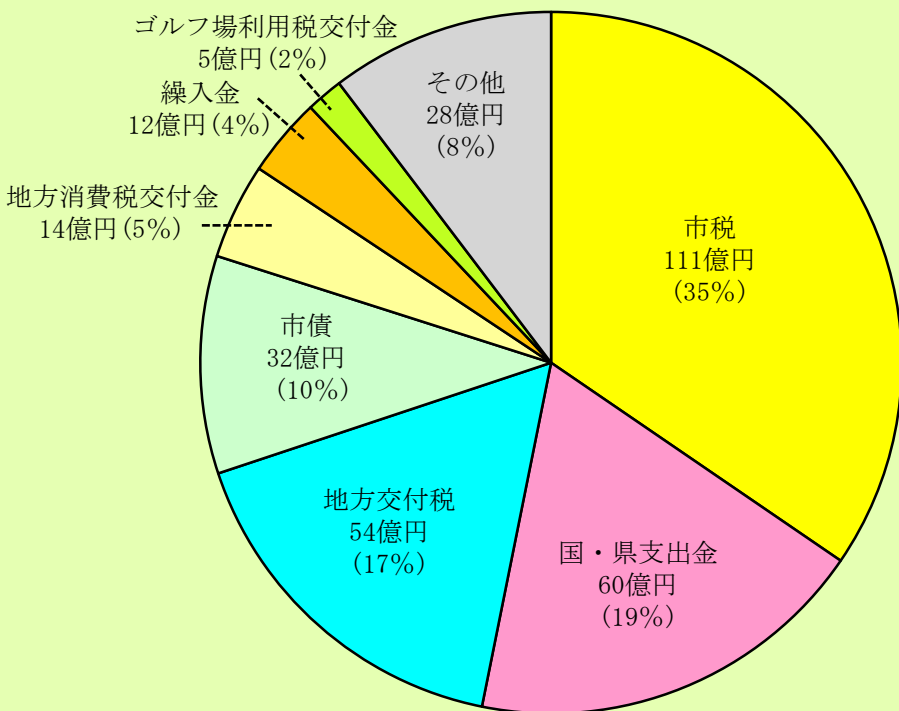
# 1 予算規模

(単位：千円)

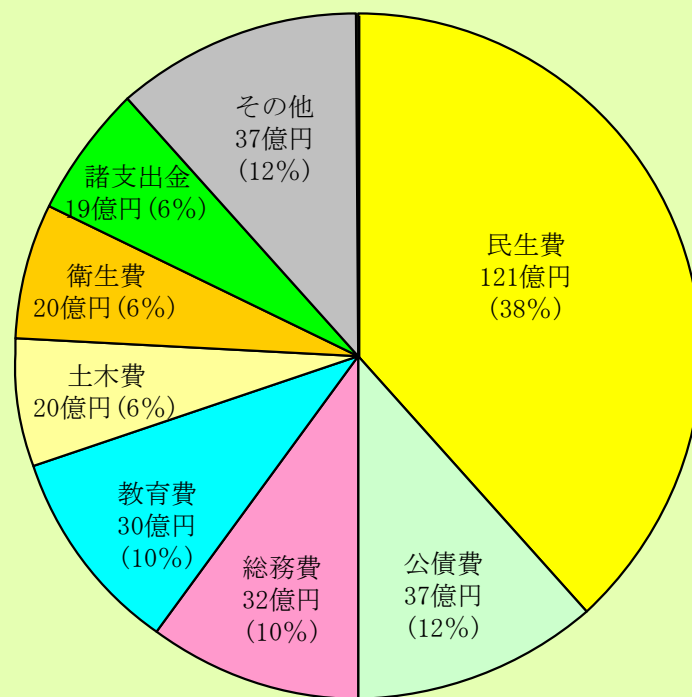
		平成30年度当初予算		平成29年度当初予算		対前年度比	
		歳入	歳出(A)	歳入	歳出(B)	増減額 (A-B)	増減率 (A/B)
一般会計		31,610,000	31,610,000	30,880,000	30,880,000	730,000	2.4%
特別会計	国民健康保険特別会計	10,004,000	10,004,000	11,882,000	11,882,000	△ 1,878,000	△ 15.8%
	介護保険特別会計	6,973,000	6,973,000	6,726,000	6,726,000	247,000	3.7%
	農業共済事業特別会計	98,000	98,000	77,000	77,000	21,000	27.3%
	後期高齢者医療事業特別会計	1,184,000	1,184,000	1,138,000	1,138,000	46,000	4.0%
	学校給食事業特別会計	289,000	289,000	303,000	303,000	△ 14,000	△ 4.6%
企業会計	水道事業会計	2,083,093	2,391,276	2,071,980	2,542,887	△ 151,611	△ 6.0%
	収益的収支	1,949,569	1,799,375	1,936,893	1,767,365	32,010	1.8%
	資本的収支	133,524	591,901	135,087	775,522	△ 183,621	△ 23.7%
	下水道事業会計	4,295,953	5,027,915	4,487,240	5,199,051	△ 171,136	△ 3.3%
	収益的収支	2,622,108	2,617,439	2,588,242	2,573,112	44,327	1.7%
	資本的収支	1,673,845	2,410,476	1,898,998	2,625,939	△ 215,463	△ 8.2%
合 計		56,537,046	57,577,191	57,565,220	58,747,938	△ 1,170,747	△ 2.0%

## 2 一般会計 歳入歳出予算額の内訳

歳入(316億円)



歳出(316億円)



◆ 「国・県支出金」は、認定こども園や障がい者に対する補助金の増加などにより約2億円の増

◆ 「繰入金」は、基金を公共施設の改修や収支不足に充てるため、約9億円の増

◆ 「市債」は、公共施設の改修を行う一方、借換債の減少で約2億円の減

◆ 「民生費」は、認定こども園の待機児童解消や、障がい者(児)福祉の推進のため約5億円の増

◆ 「教育費」は、文化会館・学校など施設の改修のため約4億円の増

◆ 「総務費」は、情報システムの更新や、非常勤職員賃金の増加など約4億円の増

### 3 一般会計 目的別の予算額

区 分	平成30年度 当初予算	平成29年度 当初予算	増減額	増減率	備 考
1 議会費	2.2億円	2.1億円	0.1億円	2.2%	ほぼ前年同額
2 総務費	32.3億円	28.8億円	3.5億円	12.4%	情報システムの機器更新や非常勤職員賃金などの増
3 民生費	120.9億円	115.6億円	5.3億円	4.6%	認定こども園、障がい者(児)支援施設への給付費などの増
4 衛生費	19.7億円	19.2億円	0.5億円	2.6%	総合保健福祉センターの空調設備改修費などの増
5 労働費	1.5億円	2.0億円	△ 0.5億円	△ 25.7%	勤労者住宅資金預託金の減
6 農林業費	7.3億円	5.7億円	1.6億円	27.8%	ため池等整備事業費などの増
7 商工費	15.1億円	15.1億円	0.0億円	0.4%	企業誘致助成金が減少した一方、観光施設の改修などの増により、ほぼ前年同額
8 土木費	20.0億円	21.1億円	△ 1.1億円	△ 5.3%	道路整備事業費などの減
9 消防費	10.4億円	9.6億円	0.8億円	8.3%	消防車の更新などによる増
10 教育費	30.0億円	25.7億円	4.3億円	16.5%	文化会館・学校などの改修費の増
11 災害復旧費	0.6億円	0.5億円	0.1億円	15.6%	農林業施設災害復旧費の増
12 公債費	37.3億円	44.8億円	△ 7.5億円	△ 16.7%	借換債の減
13 諸支出金	18.5億円	18.4億円	0.1億円	0.7%	ほぼ前年同額
14 予備費	0.3億円	0.2億円	0.1億円	50.0%	予備費の増額
合 計	316.1億円	308.8億円	7.3億円	2.4%	

※ 増減率は、千円単位の額で比較

# 4 特別会計

## 国民健康保険

100億 400万円 (18億7,800万円減、15.8%減)

- ◆ 平成30年度から、県が事業の財政運営主体となり、統一的な運営を開始
- ◆ 県による運営開始により、国民健康保険税の税率を10年ぶりに引上げ
- ◆ 第3期特定健康診査等実施計画(H30~H35)の開始

## 介護保険

69億7,300万円 (2億4,700万円増、3.7%増)

- ◆ 第7期介護保険事業計画(H30~H32)の開始
- ◆ 介護保険料は今後3年間据置(H30~H32)  
[月額5,200円]
- ◆ 住み慣れた地域で暮らし続けられるように支え合いのまちづくりを推進

## 農業共済事業

9,800万円 (2,100万円増、27.3%増)

- ◆ 農作物共済の無事戻し金の増
- ◆ 家畜共済の保険金の増

## 後期高齢者医療事業

11億8,400万円 (4,600万円増、4.0%増)

- ◆ 保険料(均等割)を2年ぶりに引上げ

## 学校給食事業

2億8,900万円 (1,400万円減、4.6%減)

- ◆ 児童・生徒数の減少等により予算規模が減額

## 特別会計予算総額

平成30年度	平成29年度	対前年度	
		増減額	増減比
185.5億円	201.3億円	△15.8億円	△7.8%

# 5 企業会計

## 水道事業

23億9,128万円（1億5,161万円減、6.0%減）

- ◆ 家庭からの給水収入は減少を見込むが、大口需要家（営業用及び官公庁、病院用等）からの給水収益は増加見込
- ◆ 主要管路の更新及び耐震化を推進

## 下水道事業

50億2,791万円（1億7,114万円減、3.3%減）

- ◆ 管渠及び処理場の長寿命化を推進
- ◆ 公共下水道及び農業集落排水施設の管理運営

## 企業会計予算総額

平成30年度	平成29年度	対前年度	
		増減額	増減比
74.2億円	77.4億円	△3.2億円	△4.2%

## 6 主な事業

### ① 教育環境の整備・充実

#### □ 教育施設の整備・・・・・・・・・・・・・・・・ 1億9,692万円

- (新) 学校等の施設改修のための「長寿命化計画」の策定に着手：2,330万円（教育環境整備課）
- (新) 教育センター・児童センターの空調設備を更新：2,650万円（学校教育課・子育て支援課）
- (新) 情報教育設備の更新：2,163万円（教育環境整備課）
- (拡) 学校トイレの洋式化〔三木小学校・みなぎ台小学校〕：570万円（教育環境整備課）  
⇒ この整備により、全小・中学校で県基準によるトイレの洋式化が完了
- (拡) 小学校の校庭芝生化の推進：360万円（教育環境整備課）
- (拡) 学校施設の維持補修など：6,405万円（教育環境整備課）



#### □ すべての子どもの学習機会の確保・・・・・・・・ 1億6,527万円

- (拡) 帰国・外国人の児童・生徒に日本語通訳などのきめ細かな支援：77万円（学校教育課）
- (拡) 特別な支援が必要な子どもへの指導補助員を増員：7,470万円（学校教育課）
- (拡) スクールソーシャルワーカーの配置校を拡大：337万円（学校教育課）
- (拡) 世界の第一線で活躍する人物による講演会を中学校で開催：40万円（学校教育課）
- (継) 小学1年生からの「話せる英語教育」を継続：5,369万円（学校教育課）



#### □ 就学支援の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 1億1,761万円

- (拡) 小・中学校就学援助費のうち新入学用品費の支給を入学前の3月に前倒し：8,719万円（学校教育課）
- (継) 奨学金の給付：3,042万円（教育環境整備課）

#### □ 生涯学習機会の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 3億7,153万円

- (新) 文化会館大ホールの舞台照明装置を更新：2億5,500万円（文化スポーツ振興課）
- (新) 文化会館のトイレの洋式化：3,560万円（文化スポーツ振興課）
- (拡) 「歴史・美術の杜みゅーじあむ」事業を推進：3,163万円（文化スポーツ振興課）

※ 各項目の事業内容は主なものを掲載〔金額は新規・拡充部分も含めた事業費全体の額〕

(新)：新規事業 (拡)：拡充事業 (継)：継続事業



## 6 主な事業

### ② 地域に根ざした仕事の創出

#### □ 中小企業の振興・・・・・・・・・・・・・・・・ 8億9,311万円

- (拡) 中小企業が行う革新的な事業展開に対する設備投資を助成：4,000万円（商工観光課）
- (拡) 起業家支援の対象者を拡充：229万円（商工観光課）
- (継) 中小企業サポートセンターなどによる中小企業支援：2,213万円（商工観光課）
- (継) 金物産業の海外進出を支援する「みきかなもんプロジェクト」を推進：1,060万円（商工観光課）
- (継) 中小企業向けの融資制度や利子補給を実施：7億7,561万円（商工観光課）



#### □ 企業誘致の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 1億8,563万円

- (継) ひょうご情報公園都市に進出した企業の固定資産税などを助成：1億8,540万円（商工観光課）
- ※ ひょうご情報公園都市の開発等について、県と連携して進めることを検討するため、事務費23万円を計上（営業課）



#### □ 農業の振興・・・・・・・・・・・・・・・・ 8,535万円

- (新) 酒米「山田錦」の振興のため、生産した等級に応じた奨励金を交付：1,656万円（農業振興課）  
[1袋(30kg)当たり 特上200円・特100円]
- (新) 野菜の生産などに係る国の水田活用直接支払交付金に市独自の上乗せにより農家を支援：1,300万円（農業振興課）  
[10a 当たり10,000円～20,000円]
- (新) 特産である山田錦を若者にPRするため「二十歳の酒」事業を実施：20万円（農業振興課）
- (拡) イノシシなどの有害鳥獣対策：3,465万円（農業振興課）

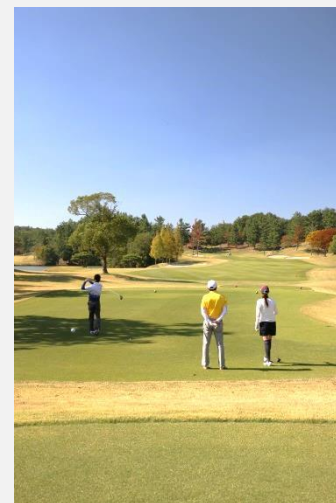
## 6 主な事業

### ③ 地域資源を活用した観光振興

#### □ ゴルフの振興・・・・・・・・・・・・・・・・ 5,404万円（商工観光課）

（継） 「ゴルフのまち三木」を力強く推進するため、ゴルフ場利用税交付金の約1割に相当する額を活用しながら、市とゴルフ協会との官民連携により事業を展開

- ・ レディースゴルフトーナメントの開催
- ・ 市内ゴルフ場における1万人コンペの開催
- ・ 市内ゴルフ場のスタンプラリーの開催
- ・ ジュニアゴルフ教室、スナッグゴルフ大会の開催



#### □ 観光の振興・・・・・・・・・・・・・・・・ 1億6,432万円

（新） 外国人観光客の誘致に向けた「インバウンド戦略」を民間活力により推進：17万円（営業課）

（新） 「農と食の祭典」を県民局と連携して開催：300万円（農業振興課）

（継） 三木ホースランドパークなどを活用した観光の振興：1億3,307万円（観光振興課）

#### □ 観光施設の整備・・・・・・・・・・・・・・・・ 8,570万円

（新） 道の駅みきの空調設備を改修：7,470万円（商工観光課）

（新） 温泉交流館（吉川温泉よかたん）の家族風呂の改修に向けた設計：100万円（商工観光課）



金物と酒米とゴルフのまち三木市

## 6 主な事業

### ④ 安全・安心なふるさとの構築 (1)防災・減災対策等の推進

#### □ 防災・減災対策の推進 . . . . . 1億5,441万円

- (新) 避難所となる公民館の耐震化に向けた設計に着手〔志染町公民館・吉川町公民館〕：1,600万円（市民協働課）
- (新) 公共施設の非常用電源の確保〔市役所・市民活動センター・三木コミュニティスポーツセンター・文化会館〕：6,800万円
- (拡) 1次避難所指定の自治会集会所の耐震助成など：2,917万円（市民協働課）
- (継) 災害時の備蓄物資（食糧・紙おむつなど）を増備：600万円（危機管理課）

#### □ 都市インフラの整備 . . . . . 7億3,774万円

- (拡) 市内主要幹線の整備〔市道高木平田線・加佐草加野線・岩宮大村線・稲田中央線〕：1億9,149万円（道路河川課）
- (拡) 都市公園の改修：1億3,500万円（道路河川課）
- (継) 市営住宅の長寿命化改修：5,759万円（建築住宅課）
- (継) みきインフラメンテナンス計画に基づく道路・橋梁の改修：2億8,116万円（道路河川課）

#### □ ため池等の保全・改修 . . . . . 1億8,692万円

- (新) 「兵庫県ため池保全サポートセンター」の運営費を負担：152万円（農業振興課）
- (新) 受益面積が0.5ha未満の「特定外ため池」の台帳を整備：860万円（農業振興課）
- (拡) 老朽化するため池等の改修や点検などを実施：1億7,680万円（農業振興課）



#### □ 安全で住みよいまちづくり . . . . . 4,027万円

- (新) 三木交通安全協会の移転先を確保：1,338万円（環境政策課）
- (新) 今後策定予定の空き家対策計画の基礎資料とするための空き家実態調査などを実施：2,464万円（環境政策課）

#### □ 消防・救急体制の確保 . . . . . 1億4,027万円

- (新) 消防ポンプ自動車2台を更新（本署及び消防団三木第8分団）：9,500万円（消防本部）
- (新) 広野分署に非常用発電設備を新設：3,760万円（消防本部）
- (拡) 救急救命士を養成：356万円（消防本部）

## 6 主な事業

### ④ 安全・安心なふるさとの構築 (2) 医療・福祉の充実

#### □ 医療の確保・・・・・・・・・・・・・・・・ 29億9,217万円

(継) 北播磨総合医療センターの運営支援：8億8,000万円（財政課）

(継) 国民健康保険事業や後期高齢者医療事業への繰出：21億1,217万円（財政課・医療保険課）

#### □ 健康の増進・・・・・・・・・・・・・・・・ 2億5,604万円

(新) 総合保健福祉センターの空調設備を改修：5,010万円（健康増進課）

(継) 町ぐるみ健診の実施：1億2,212万円（健康増進課）

(継) 24時間健康医療相談ダイヤルによる相談機会の確保：600万円（健康増進課）



#### □ 高齢・介護福祉の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 12億4,715万円

(新) 定期巡回サービス等に新たに参入する事業者への支援：420万円（介護保険課）

(拡) 市立デイサービスセンターの特殊浴槽などの設備を順次改修：2,396万円（介護保険課）

(継) 高齢者ファミリーサポートセンター・成年後見支援センターによる支援：1,973万円（介護保険課）

(継) 介護保険特別会計への繰出：10億4,795万円（財政課・介護保険課）

#### □ 障がい者福祉の推進・・・・・・・・・・・・・・・・ 16億9,388万円

(継) はばたきの丘などの施設の利用や居宅介護などの障害福祉サービスの提供：13億9,053万円（障害福祉課）

(継) 聴覚に障がいのある方に対し、手話通訳・要約筆記による日常生活の支援：1,399万円（障害福祉課）

## 6 主な事業

### ④ 安全・安心なふるさとの構築 (3) 子育て支援の充実

#### □ 就学前教育・保育の充実・・・・・・・・・・・・・・・・ 25億8,592万円

(継) 民間認定こども園・小規模保育施設の運営支援など：20億2,094万円（就学前教育・保育課）

⇒ 保育料については、3～5歳児は無償化、0～2歳児は50%軽減

(継) 保育士・保育教諭の確保対策：4,837万円（就学前教育・保育課）

・市独自で1人当たり月額9,000円を上乗せ補助

・人材確保（学生への修学資金貸付制度・就業体験など）



#### □ 子育て支援・・・・・・・・・・・・・・・・ 21億4,878万円

(拡) 児童扶養手当対象者の所得制限を緩和〔国の制度改正による〕：2億8,340万円（子育て支援課）

(継) 児童手当の支給：11億4,793万円（子育て支援課）

(継) 一時預かり保育の実施：1,424万円（子育て支援課）

(継) ファミリーサポートセンター、子育てキャラバンの実施：2,265万円（子育て支援課）

(継) アフタースクールの実施：2億6,679万円（子育て支援課）

(継) 0歳から中学3年生までの医療費を完全無料化：3億7,455万円（医療保険課）

#### □ 妊産婦や乳幼児の支援・・・・・・・・・・・・・・・・ 8,440万円

(新) 産後ケア事業の開始：89万円（健康増進課）

(継) 妊婦健診費や不妊治療費の助成：5,566万円（健康増進課）

#### □ 障がい児の支援・・・・・・・・・・・・・・・・ 9,759万円

(継) 障がい児タイムケア事業（日中一時支援）を実施：2,554万円（障害福祉課）

(継) 障がい児等発達支援事業を実施：7,205万円（障害福祉課）





## 6 主な事業

### ⑤ 広域公共交通網の整備

#### □ 神戸電鉄粟生線の活性化・・・・・・・・・・・・・・ 8,677万円 (交通政策課)

- (継) 「神戸電鉄福祉パス」の交付：2,394万円  
⇒ 70歳以上の方などに対して8日分乗り放題のカードを1枚2,800円で交付
- (継) 車両の更新などに対する支援：5,276万円
- (継) 神戸電鉄粟生線活性化協議会への支援：400万円



#### □ バス交通の充実・・・・・・・・・・・・・・ 4億2,870万円 (交通政策課)

- (新) 自由が丘中公園バス待合施設に指定管理者制度を導入：530万円
- (継) 平成27年10月の市内バス交通の見直しによる路線網と一律運賃制(※)など：4億1,361万円  
※ バスICカード乗車券(ニコパカード)の利用により市内間移動のバス運賃が原則として一律200円



#### □ 新たな公共交通網の構築・・・・・・・・・・・・・・ 859万円 (交通政策課)

- (拡) 新たな三木市公共交通網計画を策定：859万円
  - ・近隣市町と連携し、国・県とも協調した広域的な公共交通網の構築を検討
  - ・デマンド型交通の導入を検討
  - ・市内バス交通の総合時刻表を作成



※ 各項目の事業内容は主なものを掲載 [金額は新規・拡充部分も含めた事業費全体の額]

(新)：新規事業 (拡)：拡充事業 (継)：継続事業

# 6 主な事業

## ⑥ その他重点事業

- **(新) 総合計画の策定** . . . . . **1,073万円** (企画調整課)  
今後のまちづくりを進めていくための指針となる計画を策定
  
- **(新) 市ホームページのリニューアル** . . . . . **2,200万円** (広報広聴課)  
誰もが見やすく使いやすい、スマートフォンにも対応したホームページに刷新
  
- **(新) 情報システムの機器更新** . . . . . **7,000万円** (財政課)  
市役所内の住民情報システム機器を更新にあわせてクラウド化
  
- **(新) スマートインターチェンジの整備** . . . . . **3,228万円** (道路河川課)  
事業化に向けた予備設計等の実施
  
- **(拡) 生涯活躍のまちづくり** . . . . . **1,485万円** (生涯活躍のまち推進課)  
企業と地域住民の参画のもと、生活を豊かにするサービスやモノについて、地域のニーズやアイデア、企業からの提案を実践・検証していくことに対して支援
  
- **(継) ふるさと納税の推進** . . . . . **9,692万円** (縁結び課)  
ふるさと納税寄附者へのお礼として市の特産品を送付 [寄附金収入見込額2億円]
  
- **(継) 移住・定住の促進** . . . . . **7,158万円** (縁結び課)
  - ・ 固定資産税・都市計画税等相当額の一部を助成：4,500万円
  - ・ 市外から新たに転入し、住居を取得した世帯に対して取得費を助成：1,750万円
  - ・ 結婚新生活の支度金を助成：450万円
  - ・ 「みきで愛（出会い）サポートセンター」による男女の出会いを支援：240万円



# 6 主な事業

## 【参考】公共施設の改修・耐震化一覧

公民館や文化会館など市民にとって身近な施設の改修について、国からの交付税措置のある有利な市債を活用し、**8億286万円**を計上

### 1 防災・減災対策・・・・・・・・・・・・・・・・ 1億2,780万円

- (1) 避難所となる公民館の耐震化に向けた設計・・・ 1,600万円
  - 志染町公民館
  - 吉川町公民館
- (2) 非常用電源設備の新設・更新・・・・・・・・・・・・ 1億 560万円
  - 市役所
  - 広野分署 など
- (3) 減災対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 620万円
  - 全国瞬時警報システム（Jアラート）の更新 など

### 2 公共施設の改修・・・・・・・・・・・・・・・・ 6億7,506万円

- (1) 施設の長寿命化等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1億9,470万円
  - 清掃センターの改修
  - 市営大塚団地の屋根・外壁改修
  - 緑が丘町公民館駐車場の舗装更新 など
- (2) 設備の改修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1億8,026万円
  - 空調設備の改修 [道の駅みき、総合保健福祉センター、教育センター・児童センター]
  - 市立デイサービスセンターの特殊浴槽などを改修
- (3) 文化会館の改修・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3億 10万円
  - 大ホール舞台照明装置の更新
  - トイレの洋式化
  - 駐車場白線の引き直し など

